

まちづくり提言の公表（令和４年５月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	ご意見の内容(一部を要約しています。)	回答内容(一部を要約しています。)	担当課
高齢者のごみ処理について	母が周南市で一人暮らしをしています。私は仕事で県外におりますが、年に数回帰省し、家周りの片付けなど母と一緒にしております。そんな中、一番苦勞しているのがゴミの分別だと毎回申します。細かい分別で辟易しているようです。母の友人からも同様の声が聞こえます。毎回、分別をしたゴミ袋に品目と出す日にちを書いた紙を貼って、この日にちがきたら出すようにと伝えておりますが、ゴミカレンダーがシールだったらいいなと思いましたので このたびメールをさせていただきました。ゴミカレンダーをシールにしていただけないでしょうか。高齢者のごみ処理問題は各自治体でも苦勞されていると思いますが、どうぞご検討いただけますと幸いです。	ごみカレンダーをシールにしてはどうか、とのご提案ですが、ごみカレンダーの品目と月日について一日ごとにシールにした場合、あらかじめ分別をしたごみ袋に貼ることで、ごみを出す日と種類が明確になると考えられます。一方で、一度に出すごみ袋が複数ある場合への対応や、誤ってシールがはがれてしまった場合にごみを出す日がわからなくなってしまうなどの課題もあるため、慎重に検討させていただきたいと存じます。	リサイクル推進課
野良犬、野良猫問題について	以前、野良犬問題がありましたが、ボランティアのおかげもあって改善されていると思います。野良猫はどうなのでしょう。市が協力してくれているところもあるみたいで、避妊去勢した猫の耳をカットして、元いた場所に返す取組をしているそうです。どうか周南市も協力していただけないでしょうか。個人では限度があって困っています。	狂犬病予防法に基づき、周南地域（周南市・下松市・光市）において捕獲された所有者不明の犬や、引取りされた犬猫の収容・譲渡は、山口県の機関である周南環境保健所や山口県動物愛護センターが行っています。収容された犬猫の多くは、県の取り組みにより、新たな飼い主へ譲渡をされています。 また、周南市に登録している「地域猫活動団体」が行う地域猫活動への協力はしています。地域猫活動は、地域住民の理解と協力を得て、それぞれの地域にあった方法で、エサやふん尿の管理、不妊去勢手術の実施等を適切に行い、将来的に飼い主のいない猫をなくしていくことを目的とした活動で、登録団体は、安価で不妊去勢手術を受けることができる制度をご利用いただけます。 本市では、その他に遺棄・虐待の防止を目的とした監視パトロールや飼い犬・猫の不妊・去勢手術の補助等の施策を推進しています。引き続き、動物の愛護と適切な管理により、飼主のいない犬猫が一頭でも少なくなるよう取り組んでまいります。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。	環境政策課

まちづくり提言の公表（令和４年５月受付分）

※回答内容は、回答した当時の内容を掲載しています。

件名	ご意見の内容(一部を要約しています。)	回答内容(一部を要約しています。)	担当課
もみ殻を木質バイオマスの混焼材として利用することについて	現在、または未来に向けての課題として、米の生産過程で発生するもみ殻の処理があります。今までは、農畜連携で鹿野地域にある畜産会社に引き取ってもらい、畜舎敷料として利用され、もみ殻処理は農畜連携で機能していました。しかしながら、昨今豚熱の拡大に伴い、もみ殻の畜舎利用への制限により、畜産会社での引き取りが無くなったため、農業によって発生するもみ殻の処分に苦慮しています。鹿野地域全体で発生するもみ殻の処理にかかる費用は、小規模な経営体が多数を占める中山間地域の農業者で負担できる金額ではありません。そこで、周南市で進めておられる木質バイオマスの混焼材としてもみ殻を利用することはできないでしょうか。脱炭素社会を睨み、再生可能エネルギーによる持続可能な地域農業を守るために、御一考いただけないでしょうか。この取組は、農業生産法人をはじめ、個人経営の農業者や個人農家にとっても広く有益な取組と考えます。	この度のご提言を拝見し、豚熱の影響により、今まで培われてきた農畜連携の機能が低下することについて、本市におきましても危惧しております。 本市の木質バイオマス材に係る取組についてですが、豊富な森林資源と木質バイオマス材を燃料とする発電設備を併せ持つ地域特性を活かし、バイオマス材利活用の方方向性や推進に向け、昨年１月に「周南市木質バイオマス材利活用推進協議会」を設立しました。地元コンビナート企業や森林組合、学識経験者等の方々と意見交換を行い、木質バイオマス材の利活用推進に取り組んでいるところです。 ご承知のとおり、昨年10月の国の2050年カーボンニュートラル宣言を受け、周南コンビナートの各企業においても、脱炭素化に向けた様々な取組を検討されています。そうした中、企業におかれましては、中長期的なビジョンとして、木質バイオマス材の混焼率向上を掲げる企業もおられますが、バイオマス材の混焼については、企業それぞれが熱料種を研究・検討及び調達されており、市から混焼の可否をお答えしかねるところです。 今後、ご紹介いただきました射水市や秋田県大潟村の事例も含め、先進地等の取組や豚熱の影響を受けている他の自治体の対応策について本市で研究してまいりたいと考えています。	商工振興課
周南市活性化について	周南市は良港、新幹線駅、大企業を有する恵まれた条件を満たしているものの衰退の一途、全く活性化されていないのが現状。まずは他市のような大規模な商業施設及び散歩ロードの開発が必要。徳山魚市場の再構築、また良港保有してるわけだから遊覧船就航やJRでは乗り換え等時間を有する区間を1時間で結ぶ高速船の就航は県外からの客増大も見込める。大胆な発想が必要である。	古くから天然の良港として親しまれる徳山下松港は、国際拠点港湾の指定を受けた石油コンビナートを支える工業港として、また物流の拠点として重要な役割を担っており、地域産業の発展に大きく寄与しています。この徳山下松港では、現在開港100周年を記念して令和４年２月から12月にかけて周南市をはじめ下松市、光市も含めた周南地域各所において様々なイベントや催しなどが開催されています。 また、本市の市街地においては、平成30年に徳山駅前賑わい交流施設がオープンしたことをはじめ、当該施設を結んだ徳山駅東側では、徳山駅前地区市街地再開発組合を事業主体とした市街地再開発事業が進んでいるほか、徳山動物園のリニューアル事業の推進、さらには本年４月からは周南公立大学の開学に伴い、多くの若者が入学するなど、本市の活性化および賑わい創出のため、様々な取組が展開されているところです。 今後は本市が有する財産であるこうした様々な施設を、官民が連携しながら多様な取組が展開されることで、さらなるまちの賑わいが創出されていくものと考えています。今回いただいたご提案は今後の市政の参考にさせていただきます。	企画課